

第2回 草津市総合計画策定市民会議 会議録

1 実施概要

日 時	令和元年7月19日(火) 午後2時～午後4時
場 所	UDCBK (アーバンデザインセンターびわこ・くさつ)
出席委員 (22名)	木村委員、内田委員、湯浅委員、嘉悦委員、中村委員、山本委員、寺崎委員、月川委員、野田委員、中野委員、水野委員、守野委員、横江委員、前田委員、吉田委員、鶴田委員、藤原委員、北川委員、米倉委員、川端委員、市川委員 河副委員
欠席委員 (3名)	横井委員、梶山委員、光嶋委員
事務局 (5名)	総合政策部企画調整課：松浦課長、小川課長補佐、村上副係長、力石主査 市川臨時職員

2 議 事

(1) 開 会

【松浦課長】

- 本日は、蒸し暑い中ではございますが、御出席を賜りありがとうございます。
- 本日お越しいただきました、UDCBK (アーバンデザインセンターびわこ・くさつ) でございますが、こちら平成28年10月に開設され、当初はフェリエ南草津5階にありましたが、平成29年8月にこちらの方に移ってまいりました。
- このUDCBKは、草津の未来のまちのデザインを考えるために、行政と大学と企業とそして、草津に住む市民の皆様と自由に話し合って交流する場所です。UDCBKでは、誰もが気軽に立ち寄り、自由な雰囲気の中で話し合いができるよう様々な工夫を凝らしています。例えば、外からでも中を見られるようなガラス張りの建物で、天井を高くして広々とした空間を創り出しています。また、カラフルな机とかイスとか、形が変わった色々な形に組み替えられるテーブルを作ったり、そのようなものを設置し、和やかな雰囲気の中、活発な議論を行っていただけるような工夫をしています。
今回皆様にUDCBKを知っていただくのと合わせまして、和やかな雰囲気の中で意見交換をしていただきたく会場としました。
- 前回の市民会議では、草津市の「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」という形でワークショップを行っていただきました。今回の第2回市民会議では、「住みたいまちはこんなまち」をテーマに、ワールドカフェ方式で、皆さまの御意見を賜りたいと思います。
第6次草津総合計画策定にあたり、皆様のそれぞれの思いや率直な御意見を賜りますとと

もに活発な意見交換をお願いします。

(2) 委員自己紹介、事務局紹介

○初参加委員による自己紹介および事務局紹介。

(3) グループワーク

○A～Dの4グループに分かれてグループワークを実施

(4) 発表

○Aグループ

- ・年齢を問わず人に優しいであるとか、子どもの関係の施策を進めたい等の意見が出た。
- ・〇〇のまち草津の〇〇が欲しいということであったが、結論は出ていない。
結論は出なかったが、欲しいよねという結論になった。
- ・キーワードを設定しようとのことで以下のものが挙げられた。
- ・ひとに優しい、特に子ども、高齢者、障害をお持ちの方中心に、ユニバーサルデザインになるのだが、「ひとに優しいまち」をキーワードにしたらどうか。
- ・歴史がある街なので、生活している中で感じられるまち、「日頃の生活の中で歴史を近
に感じられるまち」が良いのではないか。
- ・大学生、若い活力あるエネルギー溢れる、「若さ溢れる」をキーワードにしてはどうか。
- ・市の中で、ある地域とある地域は分断されているのではないか、いろいろな意味で遠
い、高齢者の方が、隣近所がないと言われるとの意見もあり、それを解消するために
キーワードとして「つなぐ、つながる」もある。今点としてあるものが、一つの言葉
で施策をやっていけば、ばらばらなものが一つにまとまるのではないか。

○Bグループ

自由にお話をしていただいた。全く制限を設けずに意見を書いてもらった。

その中で、一つに集約されていったものが、「ひとにやさしいまち」がポイントになって
いた。

- ・高齢者の方、障害のある方、お子様、そういった方々に優しいまちが良いよね。住み
たいまちだよ。
- ・そのために全部は無理でしょう、やっぱりお金はいるでしょう。そのお金はどうする
のかという話も一方では出てきている。
- ・税収、税の使い道とか、いわゆるひきこもりの方々が労働人口として、ちゃんと働い
てちゃんと税金を納める社会づくり。そのような税を増やす方法と、引きこもりの方、
鬱の方、認知症の方、そういった方々が、助けてと声を出せる、相談ができるまちづ
くり、そういった意味でもやさしいまちづくりが良いよねとの話があった。

- ・自然・文化・歴史を大切にしていきたい。
 - ・企業誘致をしていきたい。
- このような意見の中、「ひとにやさしいまち」がポイントとなっていた。

○Cグループ

- ・まとまってはいないが、「人が集まれる場所」それは、大きなコミュニティであっても良いし、小さなコミュニティであっても良いが「人が集える場所」があってほしい。そういうまちであってほしい。
- ・この場所もどれくらいのひとが知っているのだろうか。もっと知らしめて皆がわかれば、人は集うのではないか。そのような場所を知った中で、たくさん増やしていければ、幸せなまちになっていくのではないか。
- ・コミュニティでは、集まる人が限定されるようになるのでそれを広くつなげられれば良い。
- ・人が集まる場所とは、このような場所もそうだし、企業・働く場所も、引きこもりの方が社会に出てきて集まれる場所。個と個をつなぐ場所。子どもたちが集まる場所、教育の場所。そのような場所があれば幸せなまちになるのではないか。

○Dグループ

- ・まとまってはいないが、まとめるならば、○○のあるまちで3つに集約した。
「思いやりのあるまち」
- ・個人であったり、企業人であったり、それぞれの方々がボランティア活動を推進してやっていくことができるようになっていく。そうすることが思いやりのあるまちにつながる。
- 「やりたいことができるまち」
- ・高齢者、障害のある方、子育て中の方、そのような方々にもう一度チャンスをと、そして社会に参画できて働いていける様な社会。
「働く場所が充実したまち」

(5) 閉 会

【嘉悦会長】

闊達な御意見ありがとうございました。また次に会うことを楽しみに、今日は終了ということで終わらせていただきます。お疲れさまでした。ありがとうございました。

【松浦課長】

長時間にわたりまして、ワールドカフェ方式ということで、大変多くの御議論いただきまして、ありがとうございました。多くのこんなまちに住みたいというキーワードをたくさん頂きました。御挨拶の中でも申し上げましたが、総合計画は、我々行政

職員が一方的に作る計画ではありません。市民の皆様とともに作り上げていく計画です。今頂きましたキーワード「やさしさ」、「おもいやり」であるとか、皆様の希望とか思いを、十分に反映できるような計画にしていきたいと思います。今、ちょうど計画の根幹となる「基本構想」に着手しているところです。特に将来的な事で、こんなまちにしていきたいな、こんなまちに住みたいなという部分を作り上げているところです。今頂いた意見を十分に反映させていただきながら、そのビジョンを作り上げたいなと思います。また、皆さまに良い形でフィードバックしていきたいと思います。

長時間にわたりまして、ありがとうございました。

(6) 参加者感想

- ・草津にあったら良いと思われるテーマパークなど自分では考えが及ばなかったので、他分野の方から話が聞けて良かった。
- ・一口にまとめて意見を言うことはなかなか難しい。
- ・福祉のまち草津を目指してほしい。医療費助成福祉。
- ・自分の知らない草津を知ることができたと共に、課題もたくさんあることがわかった。ありがとうございました。
- ・この会議内容が有効に活用されるよう希望する。
- ・人には様々な思いや考え、言葉があるのだと感じた上で、すべてを満たすことは難しいが、これらをどうすり合わせて、より良い街を作るかが大切であると思った。
- ・楽しい時間を過ごさせて頂いた。ありがとうございました。
- ・いろんな角度からの意見を聞くことができ、大変勉強になった。
- ・住みたいまちは草津。住みやすい!!
- ・草津といえば〇〇。みんなが同じことを言えるまち、あたたかいまちになればと思う。
- ・自分の考えと全く違った意見、見る視点の違いなど参考になった。
- ・いろんなグループで意見交換できたのは良かったと思うが、1ラウンド 15分（説明も含めて）は短いと思った。
- ・自由にいろんな方と話し合えて良かった。時間がもう少しあれば、もっと違う意見が出るかと思った。
- ・今回のような異業種の方がつながる場ができるのを楽しみにしている。
- ・それぞれの立場での意見が聞けて参考になった。
- ・まちづくりは住民の思いや努力が必要と思う。
- ・本音で話すことができた。
- ・人の意見は千差万別ということがよくわかる会議であった。次にも出席したい。
- ・“もう一度チャンスのあるまち”というまち。“やりたいことができるまち”だと思った。
- ・いろいろな方の意見を聞くことで自身の考えが深まった。

- ・いろいろな視点からまちを見直すきっかけ、考えるきっかけを頂き楽しかった。
- ・税収入アップが一番大事だと思った。そこにつながる様々な方法について、たくさんアイデアを頂けた会議だった。

